

令和4年度(2022年度) 八王子市地域づくり推進事業

川口中学校区 地域フォーラム

～ 私たちが描く地域のありたい姿を実現するために～



令和4年(2022年)11月26日(土)

八王子市 未来デザイン室
株式会社アール・ピー・アイ



本日のプログラム

会場：川口市民センター

開会

- 1 オリエンテーション 【5分】
- 2 これまでの活動 【20分】
- 3 令和4年度(2022年度)の活動報告 【10分】
- 4 令和5年度以降(2023年度以降)の活動見通し 【10分】
- ~ 休憩 ~ 【5分】
- 5 意見交換 【65分】

閉会

【配布資料】

- 川口中学校区地域カルテ
- 川口中学校区地域づくり推進計画
- 川口中学校区地域づくり推進計画(概要版)
- 川口中学校区コミュニティカレンダー(令和4年(2022年)10~12月)

八王子市の地域づくりについて

(1) 地域づくりの目指す姿

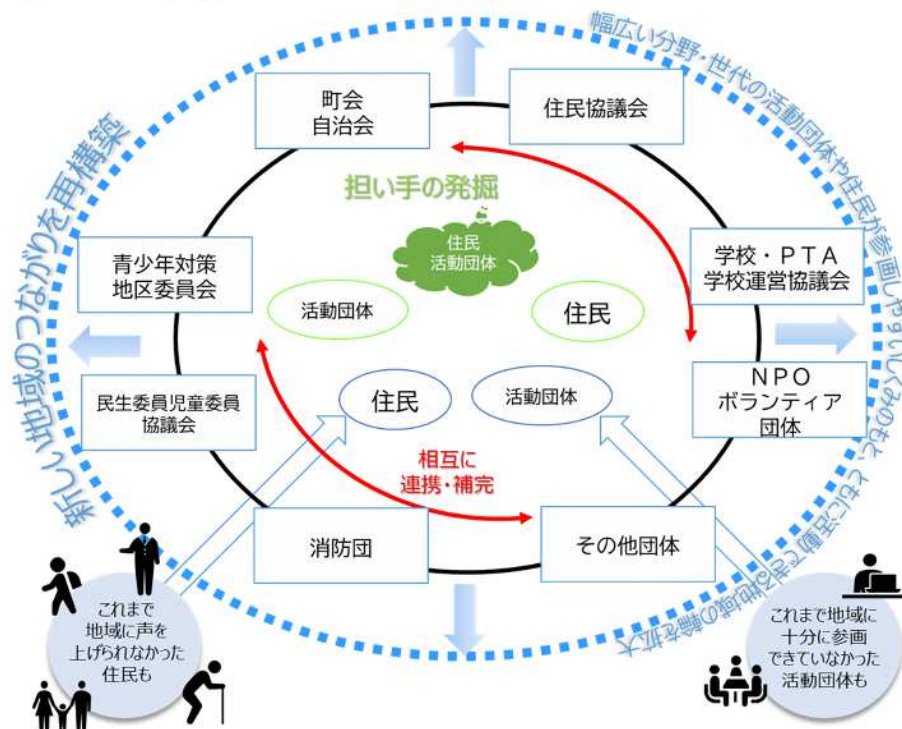
本市では、地域にとっての未来像を以下のとおり定めています。

- 日常生活での顔の見える関係性のなかでの支えあい、担いあいを通して、誰もがずっと安心して住み続けられる地域
- 従来の制度の縦割りや分野の垣根を超えて、地域の実情やニーズを捉えた柔軟な課題解決の実現
- デジタル技術も活用しながら多様な関係者との連携を深め、地域の潜在的な可能性を掘り起こしながら、持続可能な地域社会を構築



未来像の実現に向けては、中学校区単位に設置を進めている
地域づくり推進会議を母体実践していきます。

【未来像のイメージ図】



(2) モデル地区

本市では、地域づくりを市全体に展開していくための進め方や体制などを検証するモデルの一つとして川口中学校区を選定し、令和3年度(2021年度)から取り組んできました。令和5年度(2023年度)からは、モデルでの検証を踏まえ、本格的に地域づくりを推進していきます。

1 オリエンテーション

(1) 地域フォーラム開催の目的

地域づくりの気運醸成

地域づくりへの参加促進

地域づくり推進会議の取組充実

本日は、地域づくり推進会議(以下「推進会議」という。)におけるこれまでの活動報告とともに、今後の取組に関する意見交換を行います。

2 これまでの活動

(1) 活動経過

川口中学校区では、令和3年(2021年)6月に推進会議を設置し、これまで様々な議題について検討を重ねてきました。

- 地域づくり推進会議:令和3年度(2021年度) 8回
令和4年度(2022年度) 5回
- 地域づくりワークショップ:令和3年度(2021年度) 1回
- 地域づくりに関するアンケート調査:令和3年度(2021年度) 1回
- 法政大学生との意見交換会:令和3年度(2021年度) 1回

検討を通じて、地域の歴史や文化などをまとめた『地域カルテ』や地域の行動計画となる『地域づくり推進計画(以下「推進計画」という。)』を策定しました。

今後は、推進計画で掲げる将来ビジョンの実現に向けて取り組んでいきます。

<川口中学校区の将来ビジョン>



住みたくなる、住み続けられるまち川口
～自然と共生し、大人から子どもまでのつながりを大切に～

<将来ビジョンに込めた思い>

「地域のあらゆる世代」、「地域の住みやすさ」、「自然の豊かさ」の3つのキーワードをもとに、地域に住む子どもから大人までの人々が、つながりや結びつきを大切にしていきたい。

(2) 地域カルテ

川口中学校区地域カルテ

地域カルテには、以下の情報を掲載しています。

地域概要(概略、位置図、特徴、四季、年間行事)

地域活動(活動団体(町会・自治会、住民協議会等)、市民活動(サークル活動、文化・教育関連(子ども)活動等)、地域施設(教育等機関・子育て支援施設等)

住民おすすめ情報(伝統芸能、自然・名所、地域資源マップ)

統計データ(人口・世帯数・1世帯当たりの人員の推移、人口構成等)

住民おすすめ情報は、推進会議参加者が川口中学校区全体に伝えたい情報を掲載しており、地域ならではの内容となっています。

【伝統芸能】 P24・25



<おすすめポイント>

川口地区には八王子市の指定無形民俗文化財に指定されている獅子舞をはじめ、後世に伝えたい貴重な伝統芸能が受け継がれています。

<知ってほしい>

獅子舞はその地域の五穀豊穡、雨乞い、悪魔退散などを祈願して舞われます。祭囃子も継承されている貴重な伝統芸能です。どの伝統芸能にも、担い手不足という課題がありますが、後継者育成に力を入れています。

【自然・名所】 P26・27



<おすすめポイント>

植物や生き物などの貴重な自然と、寺社などの名所のどちらも楽しめるのが、川口地区の魅力です。地域住民のおすすめの場所を紹介しています。

(3) 地域づくり推進計画

川口中学校区地域づくり推進計画

川口中学校区地域づくり推進計画(概要版)

推進計画には、将来ビジョンの実現に向けて、アンケート調査などをもとに地域の魅力や課題を把握しました。

【魅力】 P10

- (ア) 地域環境に関すること
 - ・ 上川町、川口町、美山町、犬目町は地域の居住環境が違う
- (イ) 地域活動に関すること
 - ・ 住民活動が盛ん、NPO法人やボランティア団体の活動が多い
- (ウ) 自然・四季に関すること
 - ・ 動植物、山や川など豊かな自然、四季の変化を感じることができる
- (エ) 良好な暮らしに関すること
 - ・ 静かでのびのび暮らすことができる
 - ・ 地域住民の交流があり、地域の人に見守られながら生活できる

【課題】 P11

- (ア) 公共交通手段の不足
- (イ) 交流機会・居場所の不足
- (ウ) 地域活動の担い手の不足
- (エ) 身近な活動拠点の整備
- (オ) 情報発信・共有の不足
- (カ) 防災・安全

推進計画には、将来ビジョンの実現に向けて、アンケート調査などをもとに地域の魅力や課題を把握し、今後、5年間で取り組んでいきたいアクションプランを以下のとおり整理しました。

【優先的アクションプラン(令和4年度(2022年度)から実施)】 P12

プラットフォームづくり～地域の情報や担い手が集まる場づくり～

<実施理由>

- ・各団体の活動を互いに知らないのだからそれを共有する必要があるのではないか。
- ・地区ごとの課題を持ち寄り連携して解決していくための場が必要ではないか。
- ・地域活動を維持・拡大するにあたっては、活動拠点を地域全体へ周知することも重要ではないか。
- ・地域内の連携によって、地域内での情報共有や賑わいの創出、交通利便性の向上なども期待できる。

【アクションプラン候補(令和4年度(2022年度)に検討)】 P12

活動拠点の整備

地域の担い手の育成

地域情報の発信力の強化

交通利便性の向上

地域コミュニティの活性化

行政との連携強化

3 令和4年度(2022年度)の活動報告

(1) 推進会議

令和4年度(2022年度)は、以下を目標に検討を進めてきました。

- 地域が主体的に会議運営ができる体制の構築
- 部会を中心とした優先的アクションプランの実行
- 地域づくり推進計画の充実

推進会議の様子



これまでの活動を通じて、今後の推進会議における取組の可能性が広がっています。

- 多種多様な方々の参加
- 参加者同士での新たなつながりづくり
地域の多様な団体とのつながりづくり



(2) 部会

優先的アクションプランを実施するため、以下の部会を設置し、取組を進めています。

プラットフォームづくり～地域の情報や担い手が集まる場づくり～

部会名	活動頻度	方法	場所	実施開始
コミュニティ カレンダー部会	月1回程度	対面 SNS メール	はちまるサポート川口 LINE	令和4年6月 (2022年)
マルシェ部会	随時	対面 SNS	川口市民センター LINE	令和4年11月 (2022年)

詳細は、次項のとおり

今後、各部会活動をきっかけに地域の輪を広げ、既存活動の拡充や新たな活動の実施につなげていけるよう、取り組んでいく予定です。

1

コミュニティカレンダーづくり【コミュニティカレンダー部会】

地域住民が地域の活動に参加しやすくなるよう、川口中学校区内の行事・イベントなどをまとめた「コミュニティカレンダー」を3ヶ月ごとに作成・配布しています。

< 掲載情報 >

- ・町会・自治会が実施する各種イベント
- ・子ども会や学校の公開行事
- ・高齢者あんしん相談センター主催の教室・講座など

< 配布・発信方法 >

- ・町会、自治会の回覧板及び掲示板
- ・高齢者あんしん相談センター
- ・公共施設(川口事務所、川口市民センター等)
- ・川口中学校区に関わる小・中学校
- ・八王子市ホームページ

今後に向けて、SNSやメールマガジンでの配信など、DX(デジタル化)を検討していきます。

川口中学校区コミュニティカレンダー (令和4年(2022年)10~12月)

2

マルシェの開催【マルシェ部会】

地域づくりの担い手となる人やさまざまな情報が集まる場として、「川口マルシェ」を川口やまゆり住民協議会と協働で開催しました。

< 開催経過 >

例年11月に開催する「川口やまゆり館まつり」で実施している「バザー・模擬店」において、地域活性化の視点から新たな地域住民や活動団体も加わり、「川口マルシェ」として生まれ変わりました。

< 開催概要 >

- ・開催日 令和4年(2022年)11月5・6日
- ・出店数 5日24団体、6日26団体
- ・参加者数 約5,000人(2日間の延べ)

< 今後の展開 >

開催したことで見えてきた課題などを整理したうえで、開催頻度や場所を検討し、マルシェによって定期的に人が集い、楽しく過ごすことができるよう検討・実行していきます。

川口マルシェの様子



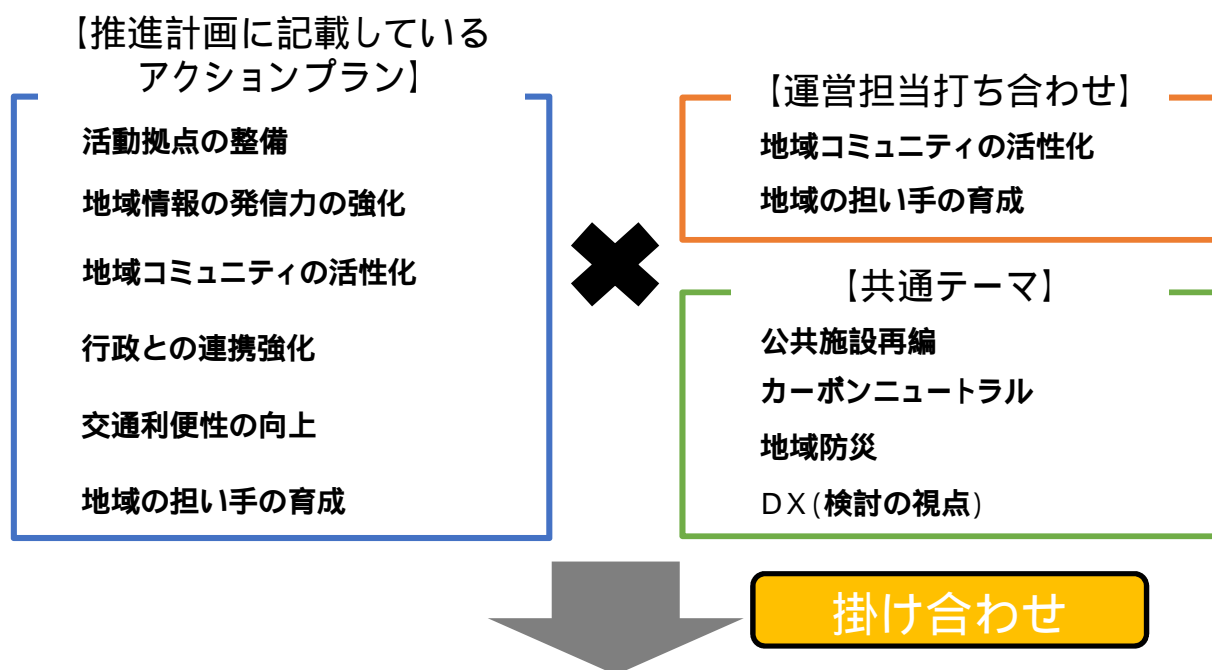
4 令和5年度以降(2023年度以降)の活動見通し

(1) 今後取り組むアクションプラン

推進会議では、現在取り組んでいる「優先的アクションプラン」に加えて、令和5年度(2023年度)から取り組むアクションプランを検討しています。

推進計画に記載するアクションプラン候補をもとに検討した結果、「地域コミュニティの活性化」「担い手の育成」と、地域と行政がともに取り組んでいく共通テーマ・視点を合わせた取組を実施していきます。

具体的な取組は以下のとおりです。今後は、「いつ・どのように実行するか」などを具体的に整理していきます。



具体的な取組	取組概要
災害に強いまちづくり	災害時に、地域が主体的に年齢や所属に関わらず、地域全体で支え合い、助け合えるよう、ハザードマップの周知や多世代による防災訓練などを実施するとともに、これらの取組を通じて担い手の育成に取り組んでいく。
マルシェの開催(継続)	令和4年度(2022年度)に実施したマルシェを踏まえ、フードロスによる「カーボンニュートラル」への取組など、新しいテーマを加えながら、地域活性化と担い手の発掘につながるよう取り組んでいく。
コミュニティカレンダーづくり(継続)	現在の取組をもとに、情報収集やカレンダーの配信をオンラインで行うなどのデジタル化(DX)を視野に入れ、若い世代も地域情報を入手・発信できるよう取り組んでいく。
公共施設再編	地域の活動拠点ともなる公共施設について、住民の意見収集を行うとともに、地域づくり推進会議の場などで行政との検討を進めていく。

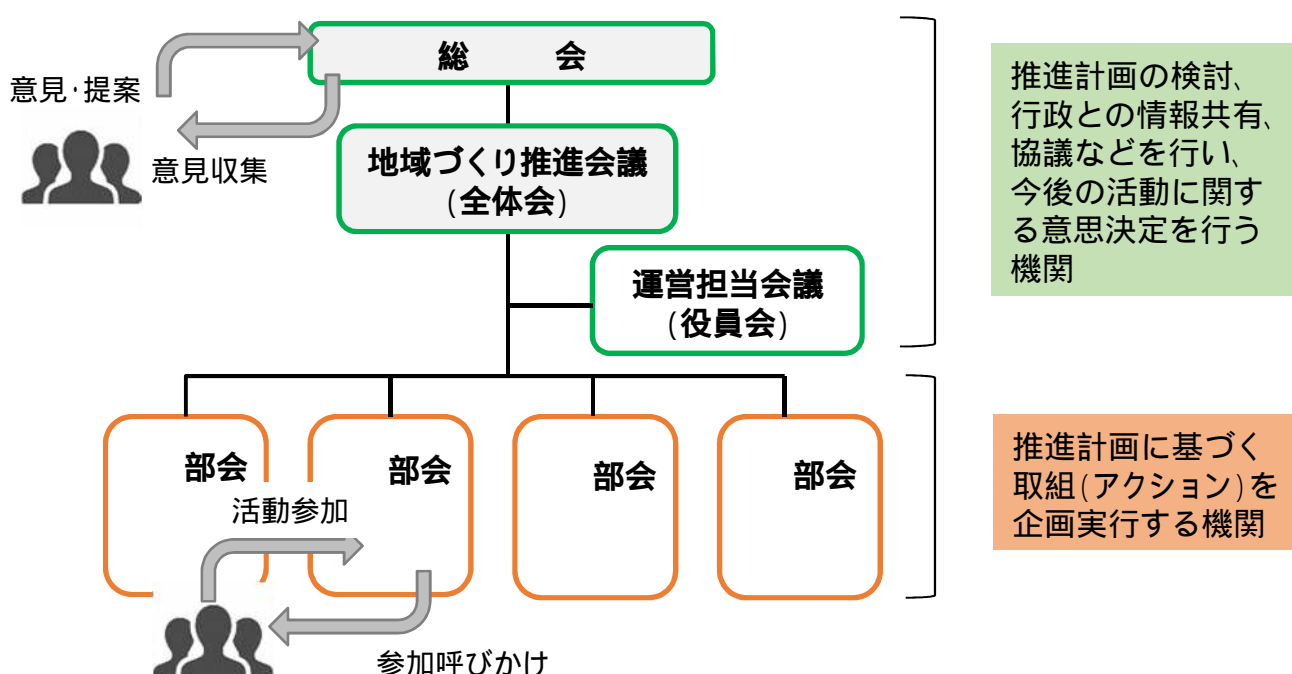
(2) 推進会議の体制

令和5年度(2023年度)から地域が主体的に推進会議を運営し、アクションプランなどを実施できるよう、しくみ・体制、運営ルールを検討しています。

現在、推進会議には、アクションプランの内容や推進会議のしくみを話しあう「全体会」、「全体会」の議題や進め方を検討する「運営担当会」、優先的アクションプランを検討・実行する「部会」があります。

今後は、地域住民の意見・提案を収集する場として「総会」の設置をするとともに、アクションプランの充実に伴い、体制の見直しを図っていきます。

<推進会議の体制(案)>



(3) 地域づくりへのご参加

推進会議に参加することで、地域住民の皆さんの思いを地域づくりに反映することや、単一団体では取組が難しいことが実行できるなど、これまでの活動をさらに広げることができます。

活動を行うに当たっては、

- 誰でも気軽に・ゆるやかに参加・関わることができる
- 住民一人ひとりの声を届けることができる
- 個々の特技や知識を活かすことができる

場となるよう引き続き、検討していきます。

推進会議への参加、部会でのイベント企画や実行する仲間を募集しています。ぜひ、地域づくりの活動にご参加ください。

5 意見交換

本意見交換は、先ほどの活動報告などを踏まえて、川口中学校区での地域づくりに関する内容について行います。

意見交換の結果は、アクションプランの具体的に検討する際の参考とさせていただきます。

(1) 意見交換

以下のテーマについてグループごとに話しあいます。

ア 地域づくりへの感想：

活動を知っていたか/関心・感想など

イ アクションプランに関する意見：

- こうしたほうがいい/取り組むとよいアイデア/類似の活動情報
- アクションプランに関わるとした場合、どの取組にどのように関わりたいか
- どうすればアクションプランを地域全体に広げられるか

(2) 全体でシェア

各グループで出た意見を発表・共有します。

【メモ欄】

フォーラムでのお約束

- その1 : みんなの発言に耳を傾けましょう。
(聞き上手になる)
- その2 : 小さな気づきも発言しましょう。
(話し上手になる、でも一人で話しすぎない)
- その3 : 自分とは異なる意見を尊重しましょう。
(意見を批判しない)
- その4 : 肩書きをはずして話し合いましょう。
(立場にこだわらない)
- その5 : みんなで意見や考えを共有しましょう。
(結論を無理に出さない)

